

……二輪ジムカーナ北海道選手権 ライセンスシリーズの開催

●北海道・中央バス自動車学校

浪江 安行

当校は、二輪免許を取得した教習生等がその後、自らの技術を高めるためのサポートを行う機関が少なく、かつ練習する適当な場所も限られていることから、二輪ジムカーナという、モータースポーツを通じて、運転技術の鍛錬、安全意識の向上、交通マナーの習得をすること、二輪車の交通事故防止も図れるのではとの考えから、安全な場所と機会を提供することとしました。

参加者が楽しく安全に、ライディング技術向上を図れるこ

と、かつ、市販車車両で参加できることから金銭面の負担が少ないこと、また、競技内容から安全性と手軽に参加できるモータースポーツと判断し、平成十年、当校に事務局を置き、「二輪ジムカーナ北海道選手権ライセンスシリーズ」と銘打って自動車学校の技能コースにおいて開催しております。

現在、年間六戦の開催と、付随する二輪車安全講習会を、当校のほか趣旨に賛同し主催者となって頂いた、道内の萩野自動車学校、芽室自動車学校、麻生

自動車学校、野付牛自動車学校、美唄自動車学校の五校と、社団法人北海道交通安全協会、他数社の後援で開催しております。

競技は、初級から上級までの九クラスに分け、学校職員が中心になり、各自動車学校の技能講習コースを使用し、旋回、スラローム、8の字、Uターン等を組み合わせたコースで実施しています。

当校は、初戦（五月）と最終戦（十月）を行っており、開始の頃は、二輪ジムカー

ナというモータースポーツについて、北海道では社会的認知度は極めて低く、モータースポーツとしての浸透はおろか、事実と全く異なった偏見や認識が乏しかったことから、参加者が非常に少なく、期待通りの競技を行うことができませんでした。

そのため、当校職員が中心になり、交通安全意識の習得、自分の二輪車を意のままに操るようになれるのは永遠の課題であ

ること、かつ二輪車の特性を理解し、技量を向上させてゆく過程はとて奥深く大変楽しいこと、また、これらのことが交通社会において、大いに役立つ要素が数多くあることを粘り強く推奨し、競技と二輪車安全講習会を開催し続けた結果、徐々に参加者が増加し、現在は開始当時の三倍に達し、参加者を制限する程までになり北海道内の二輪関係の一大イベントと成りつ

つあると共に、他の自動車学校からの趣旨賛同と開催要望の依頼も多く益々盛んになる傾向にあります。

当校では、この結果を踏まえ、今後も参加者に対し二輪ジムカーナを通じて、より安全で正確なライディング技術の習得と、安全意識の向上を図り、少しでも二輪車交通事故の減少に貢献できればと考えております。

